

今があるのは 恩師のおかげ

ふじえ ゆき
藤江 由起さん

道内プロスポーツの試合でダンスを披露するチャンスを手にした、ダンスグループDDDの代表として活躍し、ダンスサークルスキップの振り付け・指導も行っている藤江由起さんにお話を聞きました。



毎日が楽しいダンスの日々

小学3年生の時に、同級生がやっていたダンスを文化祭で見学して興味がわき、町内のダンスサークルスキップのレッスンを受けるようになりました。中学卒業後もレッスンを続けたいと思っていましたが、当時のスキップは受け入れが中学生まででした。ミュージカルにも興味があったので、お芝居の勉強もできるところと思い、高校生時には、札幌のアクターズスクールに通うことにしました。高校2年生の頃にはダンスの講師が所属している「ダンススタジオマインド」に移りマインドのメンバーの一員として舞台に出ることもありました。

恩師の誘いで指導者の道へ

その頃ダンスの恩師で先生から「スキップの指導をやってくれないかな？」という誘いがありました。子どもたちの指導ができるよう、高校卒業後はヒューマンアカデミー札幌校で、指導者としての知識を身につけ、保育資格の一つ「チャイルドマイ

ナー」も取得しました。スキップの指導を始めた当初は、一部の振り付けを担当していましたが、現在はスキップ全体の振り付けを任されています。一方代表として活動しているダンスグループDDDは、10年程前から始めました。「中学を卒業しても同じ先生に教えてもらいたい」「レッスンを受けたいけど日程が合わない」と思っている子を救いたい。自分が中学卒業の時に持っていたもやもやした気持ちを、今の子どもたちから解消させてあげたいと思ったからです。町内のイベントに参加するようになり、5年程前からレッスン生も増え、現在は年齢を考え4つのグループに分けて活動しています。

子どもたちの成長と笑顔に感動

入賞チームが、北海道のプロスポーツチームのイベントに参加できるというNHK北海道のダンスイベント企画「オドッチャオ！」に、昨年輕い気持ちで応募しました。1次選考を通過し本選に出場できたのですが、当時会場に行くとなんかステージの形が事前に聞いていたものと全

く違っていたので、急きょフォーメーションを変更しました。それでも、年上の子たちが小さな子の面倒を見てくれ、最後までしっかり踊れたことに、涙が出るほど感動しました。入賞が決まった瞬間に子どもたちがキラキラした目で私の顔を見つめてきたことは忘れられません。3月18日は、コンサドーレ札幌の試合前にダンスを披露します。この参加以降の予定は決まっていませんが、いつ話があっても良いように子どもたちは一生懸命練習しています。子どもたちには今後もダンスを続けてもらいたいです。ダンスに限らず一生懸命になれることをやって欲しいです。 (3月15日取材)



3月18日コンサドーレ札幌の試合にて

ピアノのレッスンも受けていた藤江さん。将来は、「ピアノとダンスを一緒に教えられたら」と夢を語っていました。